

## 23 (自由提案部門)

事業名 ダム湖の水質改善・水質保全啓発事業

実施主体 山佐ダム体験交流施設管理組合

県担当課 河川課

事業の成  
果

### 事業の目的 [環境保全]

- 山佐ダムを核とする周辺のイベントを企画し、年間1万人が訪れている。
- 一方、近年はダム湖のアオコ発生などの水質や環境の悪化が懸念されている。
- この環境対策には、ダム湖を中心とした上下流を含む流域全体のこととして取り組む必要があり、また、この取り組みによって、ダム湖を訪れる人々や上下流域の住民への水質保全に関する啓発を促し、地域の活性化も図ることができる。

### 事業の内容

- 間伐材を利用したイカダの製作・敷設を行った。
- イカダ上での野菜の水耕栽培試行を行った。
- 木炭を利用した水質浄化を行った。
- 山佐ダム水質保全デーを2月19日に開催し、200人の参加を得た。
- ノボリ旗による水質浄化啓発運動(篤志者の協賛金による)を行った。
- ダム湖周辺環境整備活動を行った。
- 桜まつり、キャンプ場まつりなどの年間イベントにおける啓発活動を行った。



### 目的の達成状況 [十分達成できた]

- ダム湖を中心とした水質保全デーの取り組みでは、約800人の方々に対話を行い、事業への協力のお願いができた。当日のイベントも達成できた。保全呼びかけのイベント旗も300本作成。イカダでは、「クウシンサイ」を栽培している。

協働の効  
果

**反省点・改善点**

保全デーの時期が悪かったため、今までダム周辺の環境整備で空き缶拾いや清掃活動に取り組んできた小中学生が参加出来なかった。

**県との協働内容** [ 協働して実施した ]

- 土木河川課には力を出していただいた。
- ダム湖の役割や、布部、山佐ダム、環境悪化のデータ等も参考になった。
- 山佐ダム湖についての学習会では、土木事務所と共に現状把握や環境保全の役割等を考え、保全デーの成功に向けて取り組みを進めることが出来た。
- 他県の状況も調べていただき視察もできた。調査は色々お世話になり役立った。
- 県の機構は大きいし、全体に十分発揮していただいた。

**県との協働効果** [ 十分効果があった ]

- 県は機構が整っているため、私達にない知恵(専門知識)を出していただいた。水質保全の運動と取り組みは、山佐ダムから発進を続ける取り組みになるよう県の指導をいただきたい。
- 住民の意識も高まり、県と力を合わせたことにより、全ての面で200%、事ができた。補助金だけに頼らず独自に募金も集めた。

**県への要望事項** [ 特にない ]

**反省点・改善点**

- 今回の取り組みは大変良かったと思うが、もっと広範に宣伝する取り組みが弱かったと思う。当初計画はしていたが、予算が厳しいことから不足した。
- 何かの時に水質保全をアピールしたい。

**市町村との協働** [ 協働して実施した ]

- EM については、市からパネルの貸与を受けた。
- 婦人団体が体験発表を行い、市が、浄化宣言書を受理した。

事業の継  
続

**事業成果の活用** [ 活用されている ]

- 水質保全スローガン旗は、イベント時に活用。
- イカダで「クウシンサイ」の苗を栽培。
- 水質保全デー以降、多数の見学者が訪れている。

**事業の継続状況** [ 助成を受けずに継続実施している ]

- イカダによる野菜の水耕栽培試行。
- 財源は集めた募金による。

**協働による発展** [ 協働により発展できる ]

- 力を合わせて、イカダによる野菜の水耕栽培試行に年次的に取り組めば、住民に効用を与える。

